

ドイツ現代史学会第 43 回大会のご案内

日時 2020 年 9 月 26 日（土）・27 日（日）

場所 オンライン開催（Zoom）

参加方法 下記参加フォームにアクセスし、必要事項を入力して送信してください。大会数日前に Zoom アドレスとレジユメ格納ファイルをメールで通知いたします。参加申し込み締め切りは開催 3 日前の 9 月 23 日（水）です。

参加フォーム <https://forms.gle/5pmKB1GAhQ4i2B3G7>

大会プログラム

1 日目 9 月 26 日（土） 13 時 50 分より Zoom 開場 14 時開始 17 時 40 分終了予定

個別報告 I 若手報告

- ・ 瑞秀 昭葉（東京大学・院）「19 世紀末から 20 世紀初頭ドイツにおける男性同性愛と友情の境界 —オイレンブルク事件をめぐる考察」
- ・ 平田 哲也（九州大学・院）「ブーヘンヴァルト強制収容所の過去をめぐる「反ファシズム」の語り —ヴァルター・バルテルを例に」

<10 分休憩>

個別報告 II 中欧からの視点

- ・ 杵淵 文夫（東北学院大学）「世紀転換期オーストリアの通商政策論」
- ・ 佐伯 彩（八戸高専）「アウスグライヒとガリツィアの自治」
- ・ 衣笠 太朗（秀明大学）「第一次世界大戦直後のオーバーシュレージエンにおける住民投票と分離主義運動」

2 日目 9 月 27 日（日） 12 時 50 分より Zoom 開場 13 時開始 17 時終了予定

シンポジウム I 「ドイツ外交史研究の最前線——『歴史のなかのドイツ外交』を手掛かりに——」（13：00～14：45）

*コメント対象書籍：板橋拓己・妹尾哲志編『歴史のなかのドイツ外交』吉田書店、2019 年
コメンテーター

- ・ 熊野 直樹（九州大学）
- ・ 木畑 洋一（東京大学・成城大学名誉教授）
- ・ 『歴史のなかのドイツ外交』編著者からのリプライ・コメント
- ・ 質疑応答

<15分休憩>

シンポジウムⅡ「ドイツ現代史研究から歴史総合へ ―史料から考える歴史教育の模索―」

(15:00~17:00)

- ・ 趣旨説明
- ・ 小野寺 拓也 (東京外国語大学)「歴史的に考えるとはどういう営みか―『アンネの日記』の授業実践から」
- ・ 西山 暁義 (共立女子大学)「複眼的視点にもとづく大学における歴史授業の可能性と課題」
- ・ コメント 川島 啓一 (同志社中学校・高等学校)
- ・ 質疑応答

*報告題目は、当日までに変更されることがあります。

大会 HP : <https://gendaishigakkai2013.hatenablog.com/entry/2020/08/21/130851>

【ドイツ現代史学会第42回大会事務局】

神戸学院大学人文学部 北村 厚

お問い合わせ : kitamura@human.kobegakuin.ac.jp